

SKILL UP Inc.

DX化支援研修サービス

ナレッジ・文書作成編



●会社概要



株式会社スキルアップ

- ・会社名 : 株式会社スキルアップ
- ・所在地 : 〒104-0061
東京都中央区銀座1-12-4
N&E BLD.7F
- ・事業内容 : 教育訓練事業・DX化支援研修サービス事業
人材育成に関する講演会、企業内研修等の企画、
制作及び運営
- ・資本金 : 100万円
- ・設立 : 2024年12月2日
- ・ホームページ : <https://skillup.co.jp/>

01.提案の概要



DXとはデジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation）の略で、

デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活をより良いものへと変革することを指します。

●本プログラムのポイント

① 業務資料をAIナレッジとして整理・活用できるようになる

- ・社内に散在するマニュアルやFAQなどの業務資料をAIに読み込ませることで、必要な情報を対話形式で引き出せるようになる。
- ・属人化しがちな知識の共有基盤を、受講者自身の手で構築できる。
- ・複数資料間の矛盾や古い情報をAIで検出し、ナレッジの品質を維持する方法も学べる。

② 情報のインプットからアウトプットまで一気通貫で学べる

Web情報収集・資料の読み込みと整理から、マニュアル・研修資料・FAQの作成まで、業務で求められる情報活用の流れをひとつの講座でカバー。
情報の収集→整理→検索→文書化という一連のプロセスを体系的に習得できる。

③ 「作って終わり」ではなく、継続的に活用できる運用方法まで身につく

文書を一度作成するだけでなく、定型プロンプトを活用して効率的に更新・管理する方法まで習得。
学んだスキルがそのまま日常業務に活かせる実践的な構成。

④ 実務に近い素材を使った実践課題で、現場で活用しやすい

各章の実践課題では、実際の業務資料に近い素材を使用。
研修で作成したプロンプトやテンプレートを、そのまま自部署の業務に持ち帰ることができる。

●はじめに

本講座は、業務で日々扱う資料やナレッジを「AIで整理・検索・活用する力」と「AIで業務文書を作成・量産する力」の2つを体系的に習得するプログラムです。単なるAIツールの操作方法にとどまらず、

業務資料をAIに読み込ませて対話型で必要な情報を引き出す方法

複数資料間の矛盾や古い情報をAIで自動検出する方法

複数の素材からマニュアルや研修テキストを効率的に作成する方法

FAQ・テスト・音声コンテンツを量産し、定期更新まで仕組み化する方法

といった、現場で即実践できるスキルを段階的に身につけられる構成になっています。

前半ではWeb上の情報収集から始まり、社内資料の読み込みと横断検索、複数の検索アプローチの使い分け、不整合チェックと改善サイクルの設計まで、ナレッジ管理の基礎から応用を段階的に学びます。

後半では、整理したナレッジをもとにマニュアル・研修テキスト・FAQ・テストなどの業務文書をAIで効率的に作成し、音声コンテンツへの変換や定期更新まで、文書の作成から運用までを一貫して学べる構成になっています。

ゴール

本コースを修了することで、受講者は業務資料をAIナレッジとして整備し、対話型検索で必要な情報を即座に取得できるようになります。

さらに、マニュアル・研修テキスト・FAQ・テストなどの業務文書をAIで作成し、定型プロンプトによる効率的な更新・運用フローを自ら設計できる状態を目指します。研修で作成したプロンプトやテンプレートは、そのまま現場で継続的に活用できます。

ナレッジ・文書作成編で学ぶAI

Gemini / NotebookLM

●なぜ今、AI研修なのか

01. ChatGPTの登場

この1～2年で生成AIの利便性が圧倒的に向上しました。

02. デジタル人材育成

デジタル人材の育成は、今や企業にとって最重要課題です。

03. 国の支援

国は500億円規模の予算を投じて、人材育成を支援しています。

●ご利用企業例

AIを使っているが活用に不安

主に複数のAIツールの掛け合わせについて学びます

最近、業務が忙しく余裕がない

AIで業務効率化し、時間とリソースを最大化

現場で役立つAIスキルを習得したい

実践AIスキルを短時間で習得し即戦力に

02.研修サービスの概要



弊社の研修サービスでは、デジタル・AI技術を身近なものにしてビジネスに活かす方法をご提案します。

業務効率化から動画制作まで、AIの便利さを実感していただける内容となり

手軽に学べて、すぐに実践できる、そんなプログラムをご用意しています。

●研修内容

ナレッジ管理から文書作成・コンテンツ量産までを段階的に習得するプログラムです。

ナレッジ構築

業務資料をAIに読み込ませ、対話型検索で必要な情報を引き出す方法を学びます。

情報品質の向上

複数資料間の矛盾や表記ゆれをAIで検出し、ナレッジの精度を高める運用フローを設計します。

文書作成

マニュアル要約、研修資料、FAQ、テストなどの業務文書をAIで効率的に作成する手法を習得します。

ナレッジ・文書作成編 主に学び、習得できること

- ・ 定型プロンプトで文書を効率的に更新・管理する方法まで習得
- ・ 学んだスキルがそのまま日常業務に活かせる
- ・ 情報のインプットからアウトプットまで一気通貫で学べる
- ・ 実務に近い素材を使った実践課題で現場で活用しやすい

仕組み化と 定期運用

コース概略
全5章・標準学習時間15時間。
基本操作から業務組込みへ段階的にレベルアップする実践型カリキュラムです。

●構成の工夫

従来の研修課題

内容が硬すぎる

頭に入ってこない

活用シーンを想像できない

当社のDX化支援研修サービス

興味喚起

疑似体験

実体験

発見・想像

一般的な研修でありがちな飽きやすい、活用につながりにくいといった課題を解消するため、受講者が実際の活用イメージを描きやすい工夫を随所に取り入れました。結果として、楽しみながら自然にスキルの応用力が身につく内容となっています。

● 「知る（知識）」を「使える（知恵・技術）」に変える実践研修

"知っている"と"使える"は全然違います。この研修では、実際の業務データを使って手を動かしながら、現場で再現できるスキルを身につけていきます

プロンプトのちょっとした工夫で、AIの出力が大きく変わるんです。そのコツを一つひとつ実践しながらお伝えしますね



●研修カリキュラム

- 全5章構成
- 標準学習時間：15時間
- 基礎から応用へ段階的にスキルアップ

| 1章 | 2章 | 3章 |
|---|---|--|
| <p>【章の目的】 ・ Gemini・NotebookLMの基本操作とプロンプト設計の型を理解する。</p> <p>【学べる事】 ・ AIを使った情報整理・検索の基本操作ができるようになります。</p> | <p>【章の目的】 ・ 業務資料をAIに読み込ませ、対話型検索と不整合検出手法を学ぶ。</p> <p>【学べる事】 ・ 複数資料の横断検索と不整合の検出・修正提案ができるようになります。</p> | <p>【章の目的】 ・ 検索精度の最適化と改善サイクルの設計を実務に組み込む。</p> <p>【学べる事】 ・ 情報収集から更新までの定型運用フローを構築できるようになります。</p> |
| 4章 | 5章 | |
| <p>【章の目的】 ・ マニュアル要約・研修資料・議事録など業務文書のAI作成手法を学ぶ。</p> <p>【学べる事】 ・ 業務文書のドラフトをAIで効率的に作成できるようになります。</p> | <p>【章の目的】 ・ 複数素材からのマニュアル・研修テキスト作成とコンテンツ量産を学ぶ。</p> <p>【学べる事】 ・ マニュアル・FAQ・テストの自動生成と定期更新フローを設計・運用できるようになります。</p> | |

●LMS機能付きプラットフォームについて

※ 直感的に操作が可能なプラットフォーム設計・受講を完了した証として、修了証明書が発行されます

01

直観的に分かりやすいデザイン

お客様からも「直観的に分かりやすい」という評価を多数いただいています

02

結果の管理

受講者ごとの学習進捗はもちろん、視聴日時の記録をCSVデータで出力が可能です

03

飛ばし見防止機能付き

受講者にしっかり学んで頂くため、初回のみ飛ばし見防止が作動する設計です



03. サービス料金等



実際のサービス料金、助成金の利用や流れについてご説明いたします。

●サービス料金（受講料金）：ナレッジ・文書作成編

- 全5章構成
- 標準学習時間：約15時間
- 基礎から応用へ段階的にスキルアップ
- AIの利活用に特化した研修をパッケージ化し**LMS機能**（学習管理システム）を有したeラーニング動画形式
- 動画視聴後は日常業務にAIを取り入れて取り組むことが容易となり、貴社の業務効率化を強力にバックアップ

1人：36万円（税別）

●助成金について

対象の助成金：

人材開発支援助成金

事業展開等リスクリング支援コース

助成金を活用することで、研修費用の負担を最大75%
軽減。企業がAI人材育成に取り組む絶好のチャンスです。

01. 助成金の対象

新たな商品サービスの提供や新分野進出、DX化による業務効率化が対象

02. 年間最大助成額

1事業所あたり1億円

03. 助成率

中小企業75%、大企業60%と高い助成率

04. 従業員1人あたりの経費助成限度額

研修10時間～100時間の場合、中小企業30万円、大企業20万円

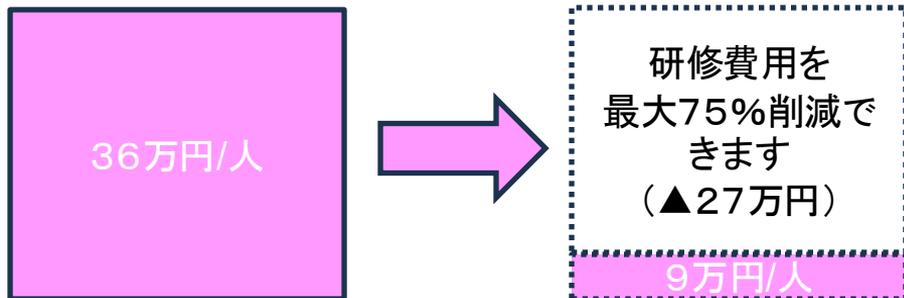
●助成金について

助成率・助成額について

助成金の活用

厚生労働省の「人材開発支援助成金—事業展開等リスクリング支援コース」の申請が可能

※研修費用の最大75%が助成金として支給されるため実質的な費用負担が軽減
助成金を利用しない場合36万円/人（税別）



大企業は最大60%も助成となります（▲216,000円）

●助成金について

ご契約から助成金入金までの流れ





THANK YOU.



資料請求いただきありがとうございました。

貴社のDX化推進のお力になれば幸いです。

